



とっとり

国際通信

公益財団法人

鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation

公益財団法人鳥取県国際交流財団

No. 150

Nov. 2025

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鸟取国际通讯 Bản tin quốc tế Tottori



表紙 Photo

外国人防災勉強会 in 三朝町(10/19)

Emergency preparedness training for foreign residents in Misasa (19 October)

外国人防災研修会in三朝町(10/19)

Học về phòng chống thiên tai tại cho người nước ngoài tại Misasa-cho (19/10)

目次 Contents / 目录 / Mục lục

●TPIEFだより

- 創刊150号
「多文化共生社会」の実現に向けて 02
- 鳥取県立倉吉総合看護専門学校で多文化共生
出前講座を実施しました 03
- 多文化共生出前講座を活用してみませんか
- にほんごコース(第2期)のお知らせ

●特集 ジャマイカ選手団を全力応援! 04

「通訳ボランティアスキルアップ講座」から
ジャマイカ陸上競技選手団事前キャンプへ!

- 令和7年度 鳥取県海外研修員の紹介 05
- JICA海外協力隊発足60年

●英語版・中国語版・ベトナム語版 ダイジェスト 06・07

Information in English, Chinese and Vietnamese
英文版・中文版文摘・越語版
Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt

●賛助会員募集のご案内 08

●ワールドレシピ 08

創刊150号 「多文化共生社会」の実現に向けて

公益財団法人鳥取県国際交流財団は1990年に鳥取県における国際交流の基盤作りと活動支援を行うために設立され、今年で設立36年目を迎えました。「国際交流」、「国際協力」そしてお互いの国籍・民族・文化の違いを尊重して共に暮らし豊かで活力ある「多文化共生社会」の実現を目指して活動しています。

財団の機関紙は1991年に創刊、今号で150号を迎えます。創刊当初の名称は「MEET」でしたが、1994年から「とっとり国際通信」という名称に改めました。

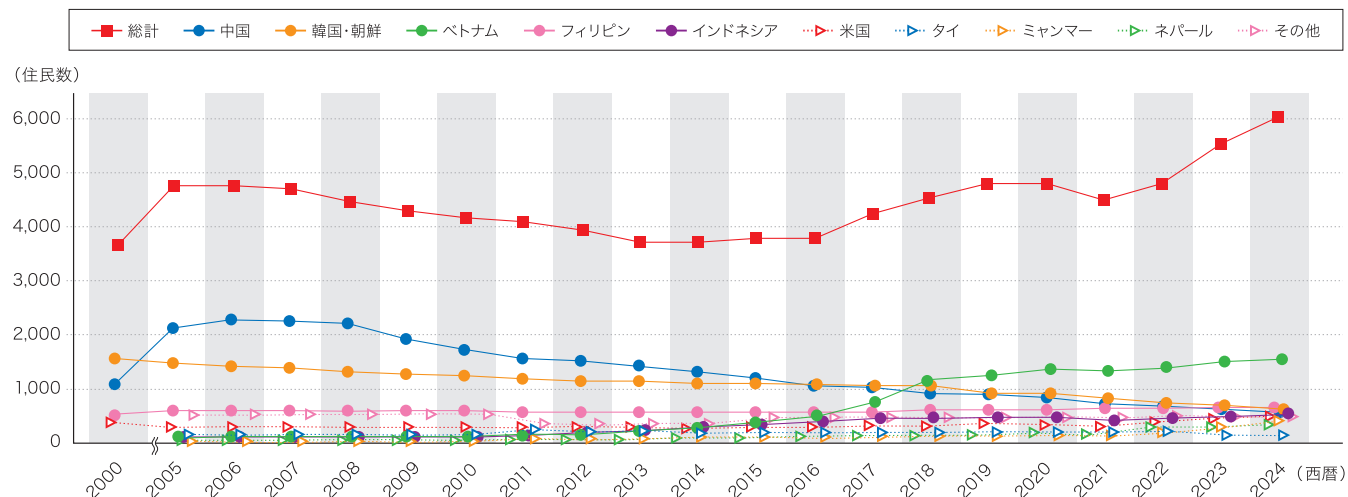
現在、世界の人口は82億人を超え、更に増加することが予想されます。一方、日本の人口は約1.2億人で、少子高齢化が進み、今後も急激な人口減少が予測されることから、社会基盤の適切な維持向上において大きな課題となっています。日本国内の外国人在住者の人口割合は約3%と増加しつつあり、鳥取県でも6,000人(2024年12月末時点・約1%)と近年急激に増加の傾向で、多文化共生時代はすでにやってきました。今後さらに多くの外国人の方々が在住され、日本社会の重要な担い手として活躍される新しい時代がやってきました。

また、日本人のパスポート保有率は約17%と韓国・台湾など隣国に比べてかなり低いのですが、鳥取県では約9%とさらに低い状況です。しかしながら、「百聞は一見にしかず」で、色々な国を見ること、異文化に触れることは、世界を知り日本を知り鳥取を知るためにも重要なことです。

今や世界は狭いのです。溢れる情報と発展した交通機関で、お互いの国をよく理解し共存していく時代で、壁を作る時代ではありません。鳥取県が外国人の方から「鳥取県に住んで良かった」と思われ、鳥取県民からも「おいでいただいて良かった」と、お互いに理解し合う「豊かで活力ある多文化共生社会」の実現を切に願って、あらゆる取組みを進めたいと考えています。

ほんな としまさ
理事長 本名 俊正

鳥取県外国人住民数の推移 (各年末現在 鳥取県交流推進課まとめ)



年	鳥取県総計	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	インドネシア	米国	タイ	ミャンマー	ネパール	その他	国籍数	全国総計
2000	3,856	1,157	1,525	-	503	-	79	-	-	-	592	63	1,686,444
2005	4,961	2,186	1,424	26	598	62	119	90	1	7	448	61	2,011,555
2006	4,959	2,351	1,346	29	593	46	116	84	1	8	385	63	2,084,919
2007	4,751	2,246	1,310	22	567	40	101	95	1	7	362	67	2,152,973
2008	4,482	2,114	1,263	14	508	35	99	81	1	6	361	69	2,217,426
2009	4,268	1,924	1,235	20	484	37	84	81	4	6	393	65	2,186,121
2010	4,144	1,761	1,221	25	499	54	85	80	4	8	407	72	2,134,151
2011	4,031	1,663	1,196	51	472	50	82	104	4	11	398	70	2,078,508
2012	3,906	1,590	1,141	96	462	60	82	77	6	11	381	72	2,033,656
2013	3,793	1,419	1,109	189	484	58	79	83	8	8	356	65	2,066,445
2014	3,797	1,263	1,087	309	482	79	81	93	10	6	387	66	2,121,831
2015	3,900	1,108	1,082	449	501	96	81	90	29	15	449	66	2,232,189
2016	4,092	1,043	1,035	632	529	117	98	88	43	18	489	62	2,382,822
2017	4,329	1,018	1,014	818	559	137	105	91	69	20	498	66	2,561,848
2018	4,605	908	1,013	1,143	572	163	100	86	60	37	523	66	2,731,093
2019	4,979	898	986	1,387	588	209	89	95	88	82	557	65	2,933,137
2020	4,912	780	935	1,453	584	188	72	94	118	102	586	68	2,887,116
2021	4,487	761	895	1,203	608	143	78	90	114	70	525	75	2,823,565
2022	4,970	729	899	1,264	634	269	94	95	174	205	607	75	2,961,969
2023	5,510	725	871	1,492	669	417	90	84	258	183	721	79	3,223,858
2024	6,000	716	875	1,538	772	503	90	79	448	212	767	75	3,588,956



鳥取県立倉吉総合看護専門学校で 多文化共生出前講座を実施しました

やさしい
日本語



県内で外国人住民数の最も多い国はベトナムですが、近年はミャンマーやネパールなど他の非漢字圏の国も増えています。こうした現状を踏まえ、講座では外国人住民が直面する「言葉」、「制度」、「心」の三つの『壁』や日本とベトナムにおける医療現場の違いを看護学生に紹介しました。

日本の医療現場では通常、敬語が使われることがあります。あえて「やさしい日本語」で会話するワークショップを通じて、これからの医療現場を担う学生たちが「誰もが分かる言葉」の手法を体感し、多文化共生について考える機会となりました。



やさしい日本語についてグループワーク



多文化共生出前講座を活用してみませんか



当財団では、学校や地域を対象に出前講座を実施しています。外国人住民が増えている鳥取県では、日本人と外国人が互いの文化や価値観の違いを認め合うことがますます重要となってきています。講座では、外国人住民が直面する「言葉」、「制度」、「心(アイデンティティ)」、「文化」などの『壁』について紹介する他、ワークショップなどの体験を交えて、相互理解のきっかけを提供します。関心のある方は、ぜひ、最寄りの財団事務所までお問い合わせください。



にほんごコース(第2期)のお知らせ

きそ(A1)コース、初級(A2)コース第2期の受講生を募集しています。



にほんご・きそ (A1)コース(第2期)

2025.10.8 ~ 2026.2.6

対面学習会

毎週水曜日・金曜日
1:30pm ~ 4:30pm

▼詳細はこちら



にほんご・初級 (A2)コース(第2期)

2025.10.19 ~ 2026.3.22

オンライン(ZOOM)

毎週火・金曜日 7:30pm ~ 9:00pm

対面学習会

日曜日 1:00pm ~ 4:00pm
(10/19, 11/9, 11/16, 11/30, 12/14, 1/11, 1/18, 2/1, 2/15, 2/22, 3/1, 3/22)



どのコースも途中からの参加となります。また、5月から継続して開催している中級(B1)コースへの申込みも随時受け付けています。

コースの概要は、こちらをご覧ください。▶▶▶





「通訳ボランティアスキルアップ講座」から ジャマイカ陸上競技選手団事前キャンプへ!

トップアスリートの
特徴を語る
クリスティン・デイさん



通訳に必要な知識を
説明するシェリーさん



県内在住の
ジャマイカ出身ALTが
ロールプレイに全面協力



ロールプレイでの
気づきを共有



陸上競技場で
事前オリエンテーション



ジャマイカ陸上競技選手団の活躍をサポートするため開催された、通訳ボランティア養成講座について紹介します。

東京2025世界陸上(9月13日～21日)に向け、ジャマイカ選手団を歓迎し、事前キャンプは大いに盛り上がりました。

通訳ボランティアスキルアップ講座

【第1回】6月14日(土) 【第2回】8月23日(土)

ジャマイカ陸上競技選手団事前キャンプ

9月1日(月)～9月10日(水)

Team JAMAICA is Back!

東京2025世界陸上の開催に伴い、10年ぶりにジャマイカ陸上競技選手団が鳥取での事前キャンプ実施を決めたことにより、事前キャンプの通訳ボランティアの発掘・育成を目的とした「通訳ボランティアスキルアップ講座」を開催しました。

第1回の講座では講師のシェリー・メガリーさんから通訳に必要な知識や効果的な練習方法を学んだ後、県内在住ジャマイカ出身ALT4名の協力のもと、実際の会話を想定したロールプレイを行い、緊張感のある中で通訳体験をすることにより、自身の英語力の把握とともに、通訳技術の向上に役立てていただきました。

第2回の講座では、配置が決まった通訳ボランティアの方に活動場所でのオリエンテーションとスキルアップトレーニング等を行い、本番に向けての機運を高めました。また、県スポーツ国際交流員として着任したジャマイカ出身の元アスリートであるクリスティン・デイさんに、選手がキャンプ時に求めるものやジャマイカのアスリートの特徴などについてお話いただき、さらにはロールプレイの外国人役としても協力いただきました。

実際に事前キャンプで活動された通訳の方からは、「目の前でトップアスリートを見て通訳が出来るとても貴重な経験だった。」「選手は気さくな方が多く、話しやすかった。」「すでにジャマイカロスです(笑)」という感想を伺っています。

※ALT: Assistant Language Teacher (外国語指導助手)

県スポーツ課からのコメント

通訳ボランティアの皆様、事前キャンプに向けた通訳ボランティアスキルアップ講座及び事前キャンプにご参加いただきありがとうございました。

講座で学んだ内容の多くが、実際の事前キャンプで役立ったのではないのでしょうか。

中でも、実際の会話を想定したロールプレイは、通訳に求められる即時通訳を実感できる貴重な講座だったと思います。

講座を通じて、ステップアップされた皆様が今後も更にご活躍されることを期待しております。

最後に、本県スポーツ振興へのご理解、ご協力に感謝申し上げますとともに、引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。